

Istanbul Weekly vol.5-no.39

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年11月24日（木）

— 今週のポイント —

- 政治：**トルコとEUとの間の緊張関係が続く。
エルドアン大統領、トルコの「上海協力機構」加盟の可能性に言及。
- 経済：**リラ、対ドルで史上最安値更新。
2015年の研究開発関連支出、対GDP比で1.06%。
- 治安：**イスタンブールでISILの自爆テロリスト2名を逮捕。
アダナ県庁で車両爆弾テロ。
- 軍事：**アル・バーブ 近郊でシリア軍の空爆によりトルコ軍兵士3名が死亡。
- 社会：**ハレム-シルケジ間を繋ぐカーフェリーが増便へ。
第3大橋にSGSシステム設置工事が完了。

政治

【内政】

●非常事態宣言下での新たな法令2件が発出、公務員等1万5000人強が解雇

22日、非常事態宣言下での新たな法令2件が発出され、国内で約1万5000人の公務員等が、FETOやPKKとの関わり等を理由に解雇された。その約半数を警察官（7586名）が占める。また、各種協会など375団体も閉鎖された。一方で、過去に発出された法令で解雇対象となっていた公務員等164名が復職となった。（11月23日付M紙1面）

【外交】

●エルドアン大統領、ウズベキスタンを訪問

18日、エルドアン大統領は、パキスタン訪問後にウズベキスタンを訪問し、ミルジヨーエフ・ウズベキスタン大統領と会談した。エルドアン大統領は、故カリモフ大統領に対する弔意を伝えるとともに、ウズベキスタン国民はトルコ国民にとって同胞であるとして、二国間関係を一層発展させていきたいと強調した。（11月19日付M紙インターネット版）

●トルコとEUとの間の緊張関係が続く

欧州議会のペリ氏（トルコ報告書担当官）は、ヒュリエット紙のインタビューに答え、トルコとの関係悪化を受けて欧州議会代表団がトルコ訪問を取りやめた件に関し、「トルコをEUに繋ぎとめておく考え方に変更はない」と述べつつも、現状のトルコ・EU関係を踏まえれば、EUとして加盟交渉を凍結しなければならない必要性もあると言及

した。（11月20日付H紙インターネット版）

●エルドアン大統領、トルコの「上海協力機構」加盟の可能性に言及

19日、エルドアン大統領は、ウズベキスタンからの帰途の機中で記者団と懇談した際、トルコのEU加盟の是非は国民投票に付した上で決定すべきであるとの考えを改めて述べるとともに、EU加盟は「柔軟に考え、固執すべきでない」と述べた。その上で「例えば、トルコは上海協力機構になぜ加盟しないのかと言われることがある」とした上で、上海協力機構はトルコにとって「選択肢の一つ」だと発言した。（11月20日付M紙1面）

経済

【マクロ経済】

●リラ、対ドルで史上最安値更新

17日、イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長が12月の利上げを示唆したことを受け、リラは対ドルで最安値を更新。18日は、一時1ドル=3.4078リラを記録、その後ドルは下落し、取引終了後には3.3714リラとなった。（11月18日付HDN紙インターネット版他）

●10月、5300社以上が新規設立

トルコ商工会議所連合（TOBB）の発表によると、10月にトルコで新規設立された企業数は、前年同月比3.53%増加し5314社。うち352社は外国との共同経営又は外国資本による企業。同月に廃業した企業は同53%増加し983社。（11月18日付AA紙インターネット版）

●11月の消費者信頼感指数、低下

11月の消費者信頼感指数は前月比6.9%低下し68.9。同指数は、昨年11月の77.1から低下が続く。Finansbankエコノミストのチチェッキ氏は、財政指標の悪化、特にリラ安傾向が同指数の低下に影響を及ぼしたと述べた。(11月23日付HDN紙10面)

●10月の住宅販売、大幅増

10月の住宅販売件数は、前年同月比25.1%増加し13万274件。住宅ローンを組んだ販売は同71.8%増加し2万8810件で、全体の約37%を占める。外国人への販売件数は同30%減少し1566件で、国別ではイラク(257件)、サウジ(159件)、クウェート(135件)、ロシア(132件)の順に多い。(11月23日付DAILY SABAH紙インターネット版他)

【経済政策】

●2015年の研究開発関連支出、対GDP比で1.06%

2015年のトルコにおける研究開発関連支出は、前年比17.1%増加し206億リラ(約76億ドル)。対GDP比では1.06%となった。主な支出元別の割合は、ビジネス部門が50.1%、公的機関が27.6%、高等教育部門が18.1%。(11月18日付AA紙インターネット版)

【エネルギー関連】

●トルコ、再生可能エネルギーに280億ドルの投資を呼び込む見込み

世銀グループの国際金融公社(IFC)の報告書によると、トルコは再生可能エネルギーの分野で2020年までに280億ドル近くの投資を呼び込む見込み。トルコは2023年までに電力に占める再生可能エネルギーの割合を37%にする計画で、昨年の再生可能エネルギーへの投資は19億ドルであった。(11月20日付HDN紙インターネット版)

治安

【ISIL関係】

●サカルヤ県でISILオペレーション

17日、サカルヤ県で対ISILオペレーションが行われ、18名がISILメンバーの容疑で拘束された。18名はトルコに不法入国したイラクとシリア国籍者であり、ISIL関連文書等も押収された。(11月18日付HDN紙インターネット版)

●イスタンブールでISILの自爆テロリスト2名を逮捕

23日、イスタンブール県警テロ対策課は、10月20日に入手した情報に基づいて、イスタンブール市内のペンディック、トウズラ、マルテペの各区において、対ISILオペレーションを実施し、7名の容疑者を拘束した。その内の26歳の男と23歳の男は、ISILの自爆テロ企図者リストに名前が掲載されていた。他の5名は、アルゼルバイジャン人とウズベク人で、上記自爆テロ犯を支援する役割であった。(11月24日付HDN紙インターネット版)



(写真は11月23日付スイスパル紙インターネット版から)

【PKK関係】

●チェコ人のYPGメンバーが拘束

10月13日、シュルナック県でトルコ治安部隊は、チェコ国籍のYPG戦闘員2名を拘束した。チェコの外務大臣は、トルコでチェコ国民2名が拘束され、テロ組織のメンバーである罪で訴追されていることを確認したこと等を発表した。

(11月18日付HDN紙インターネット版)

●イズミルでPKK幹部が拘束

21日、イズミル県警テロ対策部は、同県ボルノヴァ郡で対PKKオペレーションを実施し、PKKのエーゲ地方の責任者であるH.D(同人の名前のイニシャル)を拘束した。(11月22日付HT紙13面)

●PYDの共同議長に対して逮捕状発出

22日、アンカラの裁判所は北シリアのクルド勢力PYDのサーリハ・ムスリム共同議長に対して、本年2月にアンカラで発生した軍の通勤バスに対する車両爆弾攻撃に関与した容疑での逮捕状を発出した。同じくヨーロッパで活動するPKK幹部やPKK最高幹部のジェミエル・バユックら48名にも逮捕状が発出された。(11月23日付HDN紙4面)



(写真は11月23日付インテリア紙インターネット版から)

●HDP国会議員に終身刑の求刑

ヴァン県検察庁は、現在海外に滞在中のHDPのトゥーバ・ヘゼル・オズトウルク議員に対して、PKK関係者のセレモニーや葬儀等に参加したことやPKKのテロに関与したこと等を理由として、終身刑を求刑した。(11月24日付HDN紙3面)



(写真は11月24日付エンソルパル紙インターネット版から)

●アダナ県庁で車両爆弾テロ

24日朝8時頃、アダナ県庁内の駐車場で車両爆弾が爆発し、2名が死亡、21名が負傷した。

同日午後現在、犯行主体については当局から発表されておらず、明らかになっていない。(11月24日付AFPニュース)



(写真は11月24日付M紙インターネット版から)

【FETO 関係】

●逃走中の FETO 関係軍司令官の写真公開

21日、アンカラ高等検察庁は、逃亡中のFETOに関連する元国軍司令官6名の写真を報道陣に公開した。(11月22日付HT紙13面)



(写真は11月22日付HT紙インターネット版から)

【その他】

●イスタンブールで強制送還施設から収容者が脱走

19日午前11時頃、イスタンブールのファーティヒ区に所在する強制送還者収容施設から外国人123名が逃亡した。内務大臣は、逃走者の内20名を拘束したものの、103名が逃走中であると発表した。収容者達は、施設での処遇について抗議し、警察と衝突があった後、施設の中の家具に放火し、火事の騒ぎを利用して施設から逃走したという。(11月20日付S紙インターネット版)

●カドゥキョイの港から不発弾 9 発見

21日、イスタンブール市カドゥキョイ区の港の拡張工事現場において、砲弾計9発が海中から発見され、調査のため警察当局に移送された。砲弾の由来について、発表はされていないが、その口径から、戦艦に付属する砲弾の可能性があるという。(11月22日付S紙インターネット版)



(写真は11月22日付S紙インターネット版から)

●ドイツ総領事館別荘で70年前の不発弾

21日、イスタンブールのタラブヤに所在するドイツ総領事館の別荘の敷地内から、約60~70年前のものと思われる砲弾の不発弾が発見された。通報を受けて駆けつけた警察により、不発弾は同敷地内から安全に取り除かれた。(11月22日付HT紙インターネット版)



(写真は11月22日付HT紙インターネット版から)

軍事

●YPG がアル・バーブへ向け進軍

16日、米国と YPG は、YPG がマンビジからユーフラテス川東岸に撤退することを発表した。その一方で YPG は北シリアの二つのクルド人自治区を繋ぐアルバーブに向けて、依然として進軍を続けている。(11月18日付S紙インターネット版)

●トルコ軍がアル・バーブを空爆

20日、トルコ空軍は、ISILの拠点アル・バーブ周辺のISILの軍事目標17カ所に対して、空爆を実施した旨を発表した。(11月21日付HT紙15面)

●参謀総長、NATO 会合でアレッポの戦闘への介入を強く否定

20日、アカル参謀総長は、イスタンブールで開かれたNATO会合において、シリアとイラクの主権を支持し、両国内政に干渉しない旨強調しつつ、「我々は、ISILの脅威と攻撃を防ぎ、国境の安全を高め、人々をテロから守りたい。」「トルコ軍は、現在アレッポで行われている戦闘と関わりはない。トルコのアレッポでの戦闘介入に言及する発言は名誉毀損である。」などと述べた。(11月21日付HT紙16面)

●アル・バーブ近郊でシリア軍の空爆によりトルコ軍兵士3名が死亡

24日、トルコ軍の発表によると、北シリアのアル・バーブへ進撃していたトルコ軍に対して、シリア政府軍による空爆が行われ、トルコ軍兵士3名が死亡、同10名が負傷した。(11月24日付M紙インターネット版)



(11月24日付M紙インターネット版から)

社会

●現代美術館 Istanbul Modern が改築へ

トルコ初の現代美術館として知られる「Istanbul Modern」が、同地区の再開発計画に伴い2017年5月に一旦取り壊され、新たに改築される。工事は2019年に完了する予定で、工事期間中はカラキョイの小包郵便局において臨時で展示が実施される予定。新たな美術館には、カフェやレストランが入る予定で、更なる文化の中心地としての機能が期待されている。(11月18日付HT紙22面他)

●ハレム-シルケジ間を繋ぐカーフェリーが増便へ

iDOが運営するハレム-シルケジ間のカーフェリーが、月曜日から土曜日にかけて増便され、今後は始発便がこれまでの朝7時から5時半に早められる。1日あたり6便の増加となる見込みであるが、日曜日のみ、これまで同様に朝7時からの始発となる。(11月18日付HT紙22面他)

●第3大橋にSGSシステム設置が完了

20日、ヤヴズ・スルタン・セリム大橋(第3大橋)の開通後に慢性的な渋滞が発生していたヨーロッパ側のマフムットベイ地区でSGSシステム設置工事が完了した。同システムは、料金ゲートで車両が減速する事なく課金することでスムーズな通行を可能とする。片側四車線に新システムが設置されている。アルスラン運輸通信大臣は、この工

事完了に伴い、渋滞が30%緩和される見込みであると語った。(11月21日付HT紙22面他)

●**第35回国際イスタンブール・ブック・フェスティバルに55万人が来場**

11月12日～20日までベイリクデュズのTÜYAP展示場で開催された第35回国際イスタンブール・ブック・フェスティバルには合計55万8000人が来場した。1万3000㎡の敷地内に国内外から750の出版社が参加し、多くの人で賑わいをみせた。(11月22日付HT紙18面他)



(写真は11月21日付NTVインターネット版から)

●**バイラムパシャのプラスチック工場で火災発生、黒煙が立ちこめる**

22日朝、バイラムパシャのプラスチック工場で大規模な火災が発生し、消防隊による懸命の消火活動が行われた。出火原因については明らかにされていない。火災により発生した黒煙で、一部の商店が営業を見合わせた他、近隣の小学校と中学校が休校となり、学校関係者が生徒達にマスクを配布した。(11月23日付H紙3面他)

●**タクシーとミニバスの違反に対してポイント制が導入**

イスタンブール市の交通コーディネーションセンター(UKOME)は、来年1月からミニバスやタクシー等の運転手に対して違反ポイント制を導入する。短距離の乗客を断ったタクシーについては違反10ポイント、故障車で営業したタクシーは、50ポイントが加算され、100ポイントを超えた運転手に対して6ヶ月間営業許可が停止される。更に2度100ポイントを超えた運転手には12ヶ月間、3度目には営業許可が剥奪される。(11月24日付HT紙21面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公社
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
ISO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İŞİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜVİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞	英字新聞	通信社
Akşam	A Economist	EC Anadolu News Agency AA
Cumhuriyet	C International New York Times	INVT Agence France Presse AFP
Haberturk	HT Hürriyet Daily News	HDN Gihan News Agency CA
Hürriyet	H Today's Zaman	TZ Doğan News Agency DA
Milliyet	M	İhlas News Agency IA
Posta	P	Interpress IP
Radikal	R	
Sabah	S	
Taraf	T	
Vatan	V	
Zaman	Z	

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB: http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook: http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2016.1.1～2016.11.23 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2015年		8件		6件		20件		9件
2016年	0件	7件	0件	2件	1件	21件	0件	2件

- 今週は、ぼったくりバーの被害が1件ありました。

☆報道によると、現在、ドバイやマレーシアからのイスタンブール便において、中国人の窃盗グループによる、飛行中の席上荷物入等から現金が盗まれる盗難被害や、空港の荷物レーンから荷物を盗む事例が多発しています。航空機内では、貴重品は肌身離さぬようご注意ください。飛行機から降りた後は、荷物レーンになるべく早く向かうようにしてください。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- トヨタの新型車ラインオフ式典の開催について(11/22) **NEW**
- 治安速報: アダナ県で爆発発生(11/24) **NEW**
- 治安速報: ISIL 機関誌、トルコへの攻撃呼びかけを掲載(11/12) **NEW**

※掲載内容は、トルコの報道をまとめたものです。